

# 令和5年度 台東区学童クラブ待機児童対策計画

令和4年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

140人

## 1 学童クラブの待機児童が発生している原因

小学生児童数や共働き世帯の増加などにより、申請者数が年々増加し、予測を超える申請者数となったため。

## 2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

### (1) 方針

児童の放課後の居場所の確保に向けて、今後の需要を予測しながら、こどもクラブや放課後子供教室、児童館の運営を一体的に行っていく。

### (2) 具体策

- ・こどもクラブ新設・既存施設の定員拡大
- ・放課後子供教室の実施校の拡大
- ・児童館（ランドセル来館事業）の利用促進
- ・ベビーシッター利用支援事業の活用（小学校1～3年生対象）

## 3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

こどもクラブ新設にあたり、物件確保や施設改修、こどもクラブ運営まで一括して民間事業者が担う「民設こどもクラブ」の誘致を促進し、早期の施設整備を図る。こどもクラブの新設・定員拡大等を集中的に対策を講じることで、待機児童を大幅に減少させる。

## 4 これまでの推移

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学生児童数	6,684	6,826	6,896	6,968	7,101
増減	—	142	70	72	133
登録児童数	1,077	1,146	1,272	1,320	1,325
増減	—	69	126	48	5
待機児童数	54	57	65	42	104
増減	—	3	8	▲23	62

## 5 今後の見込

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
小学生児童数	7174	7078	7105	
増減	73	-96	27	
登録児童数	1370	1395	1599	
増減	45	25	204	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	・既存こどもクラブの定員拡大 ・放課後子供教室の実施 ・ベビーシッター利用支援事業の活用	・既存こどもクラブの定員拡大 ・こどもクラブの新設 ・ベビーシッター利用支援事業の活用 ・放課後子供教室の実施	・既存こどもクラブの定員拡大 ・こどもクラブの新設 ・ベビーシッター利用支援事業の活用 ・放課後子供教室の実施	
待機児童数	140	179	0	
増減	36	39	▲179	
			▲104	